

いもち病に強くて倒伏しにくい  
多収良食味水稻

# ゆみ あずさ

- ◆ 栽培適地は東北中部以南です。
- ◆ 「あきたこまち」「ひとめぼれ」より、いもち病に強く、稈長は短く、耐倒伏性は「強」、約1割多収で、食味は同等です。
- ◆ 出穂期、成熟期は、「あきたこまち」より遅く、「ひとめぼれ」よりやや早いです。
- ◆ 業務用米としての利用に適しています。



## 育成のねらい

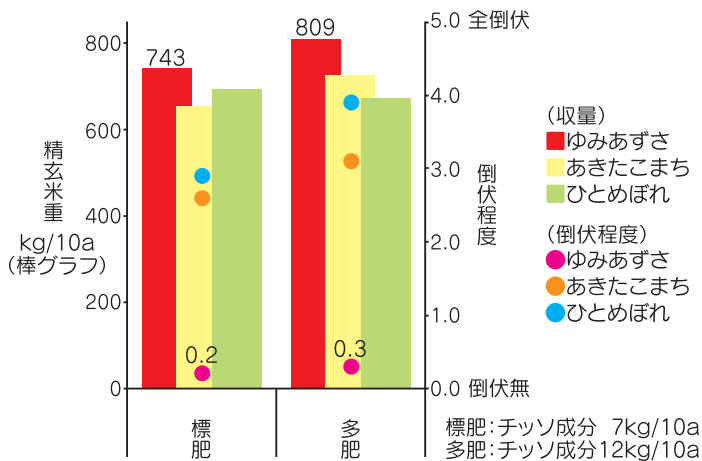
近年、調理された米を家で食べる中食や外食向けの米（業務用米）の需要が高くなっています。業務用米は、一定の品質・食味を保有し、低価格であることが求められています。そこで、業務用米の取り組みを進めている全国農業協同組合連合会（JA全農）と共同研究を行い、いもち病に強く、耐倒伏性に優れ、多収良食味の「ゆみあずさ」を育成しました。

## 品種の活用面

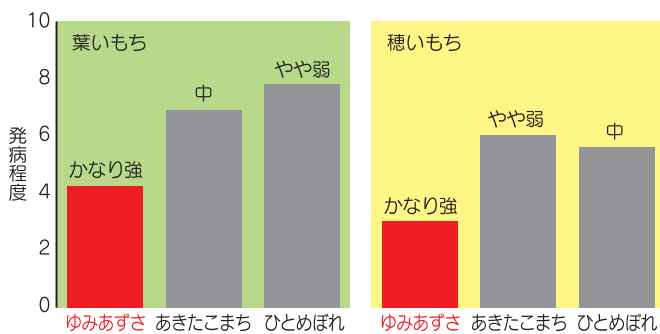
栽培適地は東北中部以南で、目安として「あきたこまち」の栽培地域に適しています。

「あきたこまち」「ひとめぼれ」より約1割多収であり、業務用米としての利用に適しています。

いもち病に強いいため、いもち病が発生しやすい地域での栽培向きです。



## 病虫害抵抗性



## 栽培上の留意点

高温耐性がやや弱いため、高温による白未熟粒が発生しやすい地域では栽培を避けてください。



左:ゆみあずさ  
中:あきたこまち  
右:ひとめぼれ

## 栽培特性

出穂期、成熟期とも早生品種「あきたこまち」より遅く、中生品種「ひとめぼれ」より早い「やや早」熟期です。

稈長は「あきたこまち」「ひとめぼれ」より短く、耐倒伏性は「強」です。(右写真は株標本)

直播栽培でも倒伏しにくいです。

### 「ゆみあずさ」の栽培特性

品種名	ゆみあずさ	あきたこまち	ひとめぼれ
出穂期(月/日)	8/1	7/31	8/5
成熟期(月/日)	9/17	9/14	9/18
稈長(cm)	71	83	85
穂長(cm)	19.0	17.9	19.0
穂数(本/m <sup>2</sup> )	421	471	530
耐倒伏性	強	やや弱	やや弱
倒伏程度	0.2	2.6	2.9
直播栽培の倒伏程度	0.8	4.9	3.3
耐冷性	やや強	中	強
高温耐性	やや弱	中	中
穂発芽性	やや易	やや難	難
いもち病 遺伝子型	Pia, Pii	Pia, Pii	Pii
抵抗性 葉いもち	かなり強	中	やや弱
抵抗性 穂いもち	かなり強	やや弱	中
精玄米重(kg/10a)	743	657	694
玄米重標準比(%)	113	100(標準)	106
直播 精玄米重(kg/10a)	701	643	629
栽培 玄米重標準比(%)	109	100(標準)	98
玄米千粒重(g)	23.2	22.3	23
玄米品質	上下(4.8)	上中(4.2)	上中(4.2)
食味(官能評価)	上中(-0.26)	上中(-0.37)	上中(基準0)

育成地(秋田県大仙市)における2012年~2016年の移植標肥区(7kg/10a)の結果。直播栽培の倒伏程度、精玄米重は2014年~2016年の直播標肥区(7kg/10a)の結果。倒伏程度は0(無)~5(甚)の6段階、玄米品質と食味は上上~下の9段階評価。玄米品質は1(良)~9(不良)の9段階評価の平均値。食味官能評価は+3(良)~3(不良)の7段階評価。2012,2014,2016年の平均値。

### 《種子入手先に関するお問い合わせ先》

農研機構東北農業研究センター 企画部産学連携室産学連携チーム  
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3588

### 《利用許諾に関するお問い合わせ先》

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(略称:農研機構) 連携広報部知的財産課種苗チーム  
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-7390 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは

農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588

メール.www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/

東北農研

検索

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。